

米軍横田飛行場における在日米宇宙軍の新編について

令和6年11月

防衛省

外務省

米軍横田飛行場における在日米宇宙軍の新編について

1. 概要

- ◆ 令和6年12月4日（水）に米軍横田飛行場に在日米宇宙軍が新編される予定。
- ◆ 在日米軍司令部との連携強化や第5空軍からの支援、その他の組織との円滑な調整の実施といった観点から、米軍横田飛行場に設置。
- ◆ 在日米宇宙軍はインド太平洋宇宙軍隷下の部隊として新編され、新編時点における組織の規模は10名程度を予定。（司令官は大佐級を予定。）
- ◆ 在日米軍に宇宙領域に関する知見を提供する窓口となるほか、米宇宙軍と防衛省・自衛隊をはじめとする関係省庁・機関の宇宙関係部局との調整の円滑化に資するもの。

2. 意義

- ◆ 宇宙空間の安定的な利用の確保が重要となる中、国家防衛戦略において日米共同による宇宙を含む領域横断作戦を円滑に実施するための協力及び相互運用性を高めるための取組を一層深化させる重要性を確認。こうした観点から、在日米宇宙軍の新編は日米同盟の抑止力・対処力の強化に資すると認識。

3. 新編に伴う影響

米側からは、

- ◆ 現時点では、横田飛行場の既存施設を活用して運用することから、新たなレーダーやアンテナの設置、施設の建設は予定していない。
- ◆ 現時点では、新たなアセットの配備はなく、近隣への騒音等の影響は発生しない。
- ◆ 配置される隊員については、横田飛行場内の施設又は必要に応じて民間住宅等に居住し、日本に赴任するにあたり、必要な教育を十分に行う。
との説明を受けている。